2025年度　下期
2024

令和7年7月22日

みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

団体名	自然探検くらぶ　にっか
代表者名	代表　阿部　ゆう
連絡先 TEL：080-9506-4235 FAX：	E-mail nikka.forkids@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	海と生きる
事業の目的	子ども達に砂浜の清掃活動を実施してもらうことで、海を大切にする気持ちを養います。また、普段食べている魚を手づかみで取る体験や魚をさばき、食べるところまで体験することで「生き物を食べていること」を実感してもらい、食事への感謝の気持ちを育むことを目的としています。 海で拾ったものを使って新しいものを生み出す体験を通して、別の視点から物を見る力を養います。

事業の具体的内容	○令和7年6月21日（土） 砂浜清掃（場所：石巻市北上町十三浜　白浜） 魚のつかみ取り体験（場所：石巻市北上町十三浜　石巻・川のビジターセンター） 参加者：子ども32名、大人22名、高校生ボランティア3名 　砂浜清掃活動の前に、子どもたちに海洋ゴミによって被害を受けている生き物の写真を見せ、一人ひとりにその意味を考えてもらいました。海の生き物がゴミをエサと間違えて食べてしまっている写真を見た子どもたちは、「海にゴミを捨てないこと」や「ゴミを拾うことで命を守ること」の大切さを学び、その後、実際に清掃活動に取り組みました。子どもたちは真剣な表情で一生懸命にゴミを拾っていました。 　また、魚のつかみ取り体験の前には、「私たちは生きている魚の命をいただいている」ということを伝え、自分たちで捕まえた魚を目の前で捌き、調理しました。「かわいそう」という声も聞かれましたが、命をいただいているからこそ、感謝の気持ちを持って残さず食べることが大切だと伝えました。魚が苦手な子どももいましたが、みんなが残さずしっかりと食べていました。 ○令和7年6月25日（水） 砂浜清掃で拾ったゴミ、貝殻、流木などを活用した工作活動 （場所：石巻市鹿又　石巻市立鹿又小学校） 参加者：子ども22名 　工作活動の前に、子どもたちに砂浜で拾った素材をさまざまな視点で観察するよう促したところ、驚くほどおもしろい発想がたくさん生まれました。たとえば、大きな浮きを見て「魚の体」に見立て、貝殻を「ウロコ」として表現するなど、豊かな想像力が光っていました。また、ラバーポールのごみと流木を組み合わせて「人形」に見立てる発想もありました。 　こうした子どもたちのイメージを、スタッフが一緒に手助けしながら形にしていき、終始楽しげな雰囲気の中で工作活動を行うことができました。それぞれの作品には子どもたちの創造力があふれており、とても印象的でした。 ○令和7年7月5日（土） 工作物を自然の中に展示（場所：女川町女川浜　まなびの森） 参加者：子ども18名、大人14名 　作品配置に工夫し、子どもたちが「海（砂浜）」と「森」という異なる自然環境のつながりや対比を感じられるようにしました。森の中に海洋ゴミを使ったアート作品を展示することで、自然の美しさとともに環境問題にも目を向けるきっかけとなりました。イベント当日も森の中の葉やきのみを使ったハーバリウム作り、ステンドグラス風短冊作り、森の中に黒板を設置し黒板アートを行いました。 　子どもたちは、森の中を探検したり、沢遊びを楽しんだりしながら作品を鑑賞することで、「自然体験」と「環境教育」の両方を学べる貴重な場となりました。

活動の開始から完了までの流れ	令和7年1月・・・8日　大丸カイエイ株式会社に協力依頼 令和7年4月・・・11日 石巻・川のビジターセンターに協力依頼 24日　大丸カイエイ株式会社打合せ 25日　広報チラシ作成 令和7年5月・・・17日　チラシ配布、SNS及びHPで告知 令和7年6月・・・18日～19日　消耗品等購入 令和7年6月21日　砂浜清掃活動、魚のつかみどりイベント 08時00分～08時30分　集合、受付（石巻・川のビジターセンター） 08時30分～08時40分　始まりの挨拶 08時40分～08時50分　砂浜へ移動 08時50分～09時40分　砂浜清掃活動 09時40分～10時00分　石巻・川のビジターセンターへ移動 10時00分～10時10分　休憩・つかみ取り準備 10時10分～10時40分　魚のつかみ取り体験 10時40分～11時00分　魚さばき見学 11時00分～12時00分　魚の炭火焼づくり、魚の試食 12時00分～12時20分　終わりの挨拶、活動の振り返り 令和7年6月25日　　砂浜清掃で拾ったゴミ、貝殻、流木などを活用した工作活動 14時30分～14時40分　集合、受付（石巻市立鹿又小学校） 14時40分～14時50分　始まりの挨拶、海洋ゴミについての教養 14時50分～15時30分　工作活動 15時30分～16時40分　終わりの挨拶 令和7年7月5日　工作物の自然展示 09時40分～10時00分　集合、受付（女川町女川浜　まなびの森） 10時00分～10時10分　始まりの挨拶 10時10分～10時40分　森に展示された作品鑑賞 10時40分～11時30分　森林探検・沢遊び 11時30分～11時50分　スイカ割り、スイカ試食 11時50分～12時00分　終わりの挨拶

活動の成果と教訓	各事業内容に掲げていた目的やねらいの達成度 ○ 砂浜清掃活動 目的：砂浜の清掃活動を通して、海を大切にする気持ちを養う。 達成度：十分に達成できました。 活動後の振り返りでは、子どもたちから「ゴミはすてない！」という主体的な発言があり、目的の内面化が見られました。 ○ 魚のつかみ取り体験 目的：普段食べている魚を手で捕まえ、さばいて食べる体験を通し、「命をいただく」実感と食事への感謝の気持ちを育む。 達成度：十分に達成できました。 魚が苦手な子どもが「自分で捕まえた魚は自分で食べる」と言って完食するなど、心の変化が顕著に見られました。 ○ 砂浜清掃で拾った素材を使った工作活動 目的：海で拾った素材から新しいものを創作することで、物を見る別の視点を養う。 達成度：十分に達成できました。 子どもたちの自由な発想による創作が多数見られ、想像力・創造力の育成に寄与しました。 ○ 工作物の自然展示 ねらい：森の中に自作の作品を展示することで感性を刺激し、自然の中で遊ぶ体験を得る。 達成度：十分に達成できました。 展示を見た子どもたちから「とってもきれい」「なんかおもしろい」といった感想が聞かれ、自然との一体感や感性の育ちがうかがえました。また、沢遊びを通じた発見活動も楽しく充実していました。

今後の展望など	○自然体験を通じた「生き抜く力」の育成 子どもたちが将来の社会で自立し、困難を乗り越えて行ける力を身につけるために、問題解決力やコミュニケーション能力などが必要です。毎月開催しているイベントや現在運営している放課後子ども教室で子どもたちに小さな課題を任せて、自分で考える機会を作ったり、異年齢の子や地域の方々との関わりを通して、柔軟なコミュニケーション力を身につける環境を提供します。 ○子どもの選択肢を増やすためのアプローチ 子どもたちが自分らしく生きる道を自由に選べるようにするために、いろいろな職業の人や生き方をしている大人と話す機会をつくりたいと考えています。今後は職場見学や職業体験のイベントを開催します。 ○子ども会議の開催 子どもたちが「やってみたいこと」「興味があること」を話し合う場を設け、自己表現力や主体性を育みます。この子ども会議で発表されたアイデアや意見を尊重した企画を開催し、「自分の思いが尊重された」という実感を子どもたちに与えたいです。

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額(円)	備考
福祉活動助成金	300,000	
6月21日砂浜清掃活動・魚のつかみどりイベント参加料	27,000	子ども32名 大人　22名 54×500円＝27,000
自己資金	26,768	
合計	353,768	

■ 支出の部

費目	内容	予算額(円)	実支出額
魚つかみ取り体験費用 ①	銀鮭つかみ取りイベント	318,000	317,800
手数料 ②	振込手数料 (大丸カイエイ株式会社)		660
消耗品 ③	砂浜清掃活動用品 魚の丸焼きづくり用品 工作活動用品	13,000	21,805
感染対策用品 ④	ハンドソープ	1,000	929
熱中症対策用品 ⑤	飲料水120本分	5,000	8,625
賃料 ⑥	レンタル工具		600
チラシ印刷費用 ⑦	チラシ200部	4,000	3,349
合計		341,000	353,768

＊用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー(郵送)

③ 成果物(活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)

＊写真は郵送とメールで送ってください。

魚のつかみ取りやってみよう

【海と生きる】プロジェクト始動中

日時：令和7年6月21日(土)08：30～12：30
場所：石巻・川のビジターセンター
（石巻市北上町十三浜字東田1）
対象：小学生と保護者（未就学児のごきょうだい参加OK）
費用：参加者全員一律500円

プログラム①
刺身専用銀鮭
ブランド魚『桜銀』
のつかみ取り



プログラム②
砂浜クリーン作戦



後日開催予定

プログラム③
拾ったもので
工作活動



プログラム④
森の美術館



SCAN ME

お問い合わせ
お申し込みは
こちらから

みやぎ生協
福祉活動
助成金で活動

主催 自然探検くらぶ にっか
協力 大丸カイエイ株式会社　石巻・川のビジターセンター

令和７年６月２１日（土）砂浜清掃、魚のつかみ取り体験





















放課後子ども教室　Vol 3

にっかだより

2025 6

アート作りをしたよ！

令和７年６月２５日（水）アート作りを行いました。
砂浜清掃で拾った貝殻や流木を再利用し、それぞれ個性のある作品が仕上がりました。７月５日の森の美術館に展示します。ぜひ鑑賞しにきてくださいね。

活動内容

絵の具アート（フルイドアート）やホタテの殻に絵をかいたり、流木に目やモールを付けて想像の生き物を作りました。紙粘土に貝殻をつけた貝殻アートなど海を連想させる作品がたくさん出来上がりました。子どもたちは迷いなく作品を作り上げるので、その思い切りの良さと独創性に感心しながら楽しい活動時間を過ごすことが出来ました。

本活動はみやぎ生協福祉活動助成金で行いました。







次回開催について

次回開催日は令和７年７月９日（水）、活動内容は「からだづくり（伝承遊び）です。気温によっては「子ども会議」に変更します。
水分を多めに持参してください。６月から熱中症対策で塩分チャージタブレットで塩分チャージしています。

本日のスタッフ

ゆうさん、たかさん、りゅうくん、
みとちゃん(ひのこ子ども食堂)、わたなべさん（CS委員）

令和７年６月２５日（水）砂浜清掃で拾ったゴミ、貝殻、流木などを活用した工作活動







令和７年７月５日（土）工作物を自然の中に展示



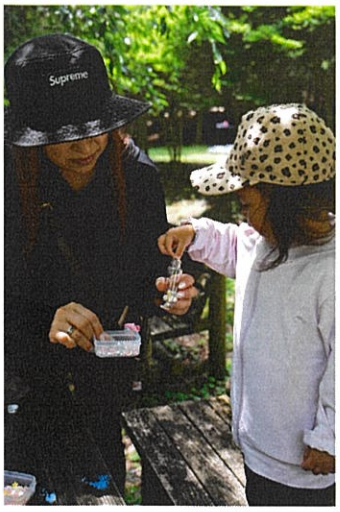






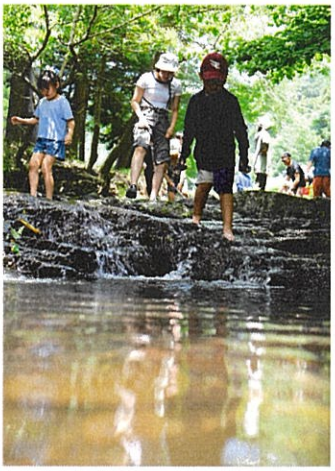












おひさま No21

【海と生きるプロジェクト】
プログラム１、プログラム２を開催

①　砂浜清掃

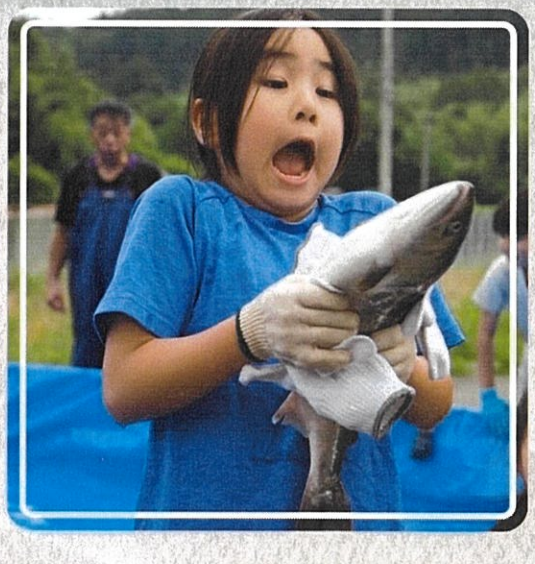


石巻・川のビジターセンター周辺の砂浜で清掃活動を行いました。清掃活動前には子どもたちに、海の生き物が餌と間違えて人間が捨てたゴミを食べてしまうことを伝え、生き物の命を守るためにゴミ拾いをすることを知ってもらったうえで活動に取りかかりました。それぞれお気に入りの貝殻を拾いつつ、小さなゴミから大きなゴミまで時間の限り楽しみながら清掃活動ができたことを嬉しく思います。



②　魚のつかみ取り体験

「刺身専用ブランド魚　桜銀」のつかみ取りをしました。今、生きている魚を自分の手でつかみ取り、「命ある魚を食べる」という体験を通して子どもたちがそれぞれ食に対する意識を考える時間になったと思います。自らの手でつかまえた魚を刺身、炭火焼でいただいたところ全員がしっかりと完食してくれました。自らが実際に体験をすることは、なによりの学びになりますね。





参加人数

子ども３２名　大人２２名

スタッフ　１２名

高校生ボランティア　３名

協力　大丸カイエイ株式会社
石巻・川のビジターセンター

みやぎ生協福祉活動助成金
で活動を行いました



おひさま

No23

2025.07.05

- 森の美術館鑑賞
- 沢遊び
- スイカ割り

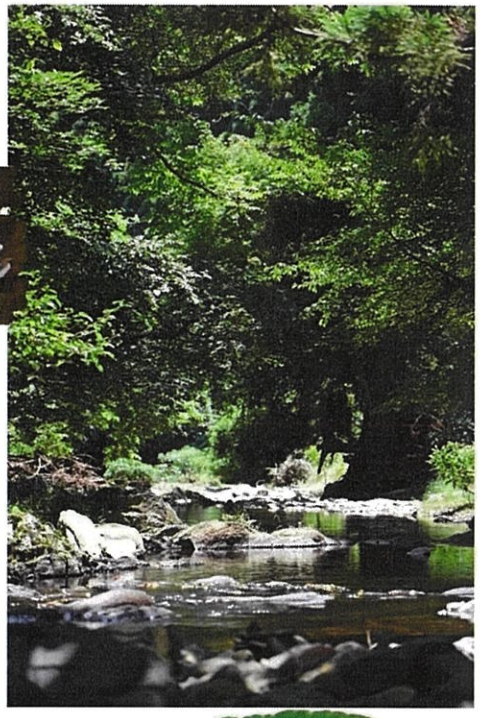
森の美術館開催！

砂浜清掃をして拾ったものを活用した作品づくりを行い、森の美術館を開催しました。自然豊かな海や森をこれからも大切にしましょう。

当日はステンドグラス風短冊を書いたり、ハーバリウムを作りました。黒板にもたくさん絵を書いてくれてありがとう！







沢遊び・スイカ割り

森で遊んだあとは沢遊び。冷たくてきれいな水に全身入りながら遊びました。カニ・エビ・メダカ・アユなど生き物がたくさん！

沢遊び後にはスイカ割りをしました。最後はお父さんたちの力を借りて無事に割れました。みんなで食べるスイカは美味しいね！

本イベントはみやぎ生協福祉活動助成金で活動しました。

参加人数

子ども	１８人
大人	１４人
スタッフ	６人







